# MITSUBISHI

## 三菱電機フリープランシステム（R410A対応）

### 室内ユニット
### GE-P・M-E2

# 取扱説明書

もくじ



**このたびは三菱電機フリープランシステムをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。**

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●お使いになる方が代わる場合には、本書と『据付工事説明書』および『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

# 1. 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意 の表示で区分して説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。 |
| ⚠注意 | 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの傷害に結びつくもの。 |

■"図記号"の意味は次のとおりです。

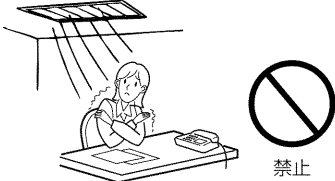
| 図記号 | 意味 |
|---|---|
|  | 絶対に行わないでください。 |
|  | 必ず指示に従ってください。 |
|  | 必ずアース工事を行ってください。 |
|  | 回転物に注意してください。<br>(室外ユニット本体に表示してあります。) |
|  | 絶対に水を掛けないでください。 |
|  | 絶対に濡れた手で触らないでください。 |

●ご使用時

## ⚠警告

### 長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。

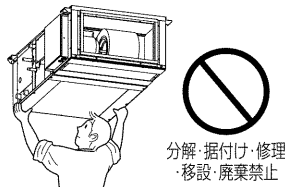
禁止

### 万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

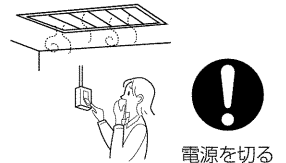
換気

### お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない

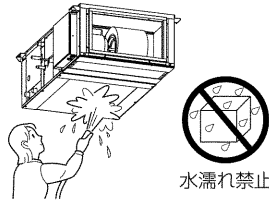
不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

### 異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

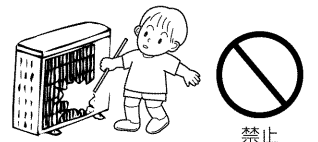
異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。
また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

### エアコンおよびリモコンを水洗いしない

ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。

水濡れ禁止

### 吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

**特にお子さまにご注意を！**
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

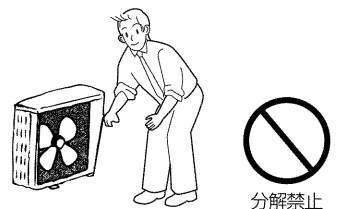
禁止

### 濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

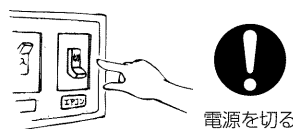
濡れ手禁止

### パネルやガードを取外さない

機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。

分解禁止

### 清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

ファンおよびファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。

電源を切る

●ご使用時

## ⚠注意

### 直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼の原因になります。
エアコンが燃焼器具の熱で変形することがあります。

設置禁止

### 特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。

使用禁止

### 直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

設置禁止

### 殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。

使用禁止

### 燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。

換気

### フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

禁止

### リモコンを先がとがった物で押さない

故障の原因になります。

禁止

### フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

保護具着用

### 室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度80％以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

設置禁止

### 室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下・転倒によるケガの原因になります。

禁止

### 据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

放置禁止

### 運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

禁止

### 清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

電源を切る

### エアコンの下方に食品や食器を置かない

ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。
食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。

禁止

### 室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。

エアコン停止

### 室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品および薬品から発生したガスを十分排気してから、エアコンを運転する

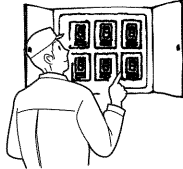
薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸込んだりするとエアコンの腐食、変形の原因になります。

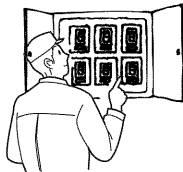
換気・送風運転

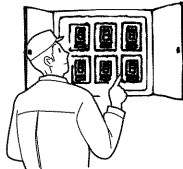
●据付け時

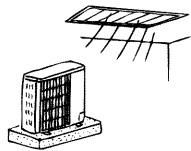
## ⚠警告

**据付けは、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください**

**元電源の取付位置を確認する**

**電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する**

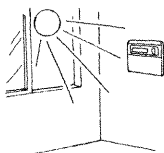
異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

**漏電遮断器を取付ける**

取付けていないと、感電・火災の原因になります。

**室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること**

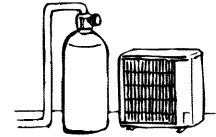
ユニットの落下・転倒などによりケガの原因になります。

設置場所

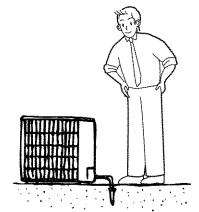
**使用される別売部品は当社指定品であること**

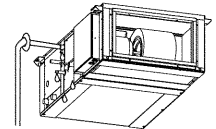
別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。

**リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンに掛かるところには取付けない**

## ⚠注意

**可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある場所へは据付けない**

ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

**アース工事（D種接地工事）を行う**

アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

**ドレン配管は確実に行う**

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

### ●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

### ●次の場所への据付けは避けてください。

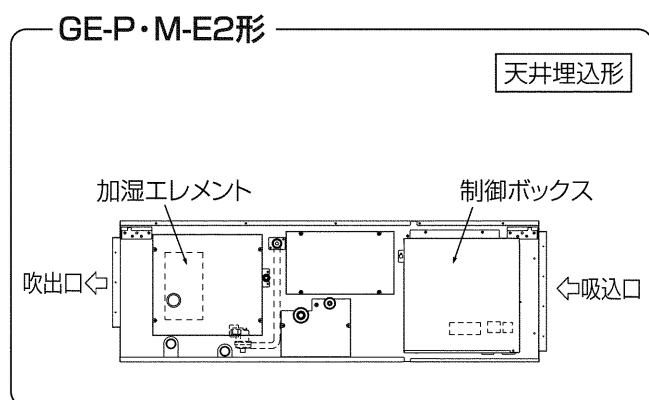
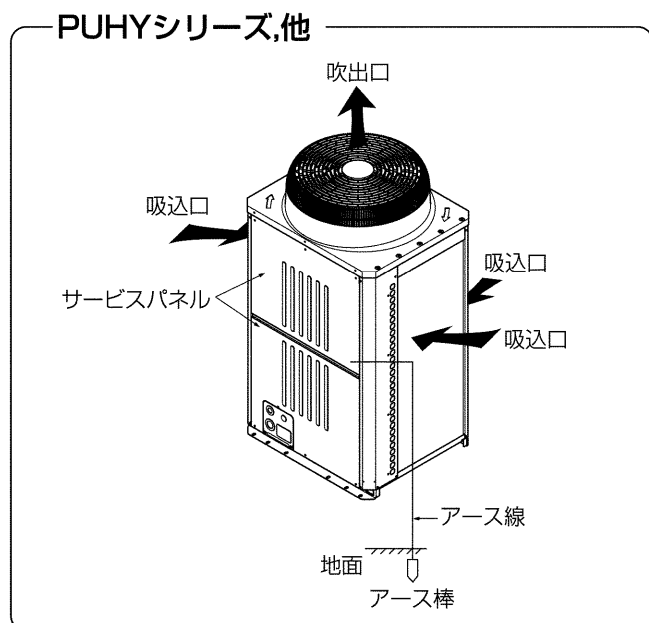
本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

●可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
●硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
●車輌・船舶など移動するものへの設置
●高周波を発生する機械を使用するところ
●化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
●粉や蒸気が多量に発生するところ
●油煙がたちこめるところ
●海浜地区など塩分の多いところ
●積雪により室外ユニットが塞がれるところ
●炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

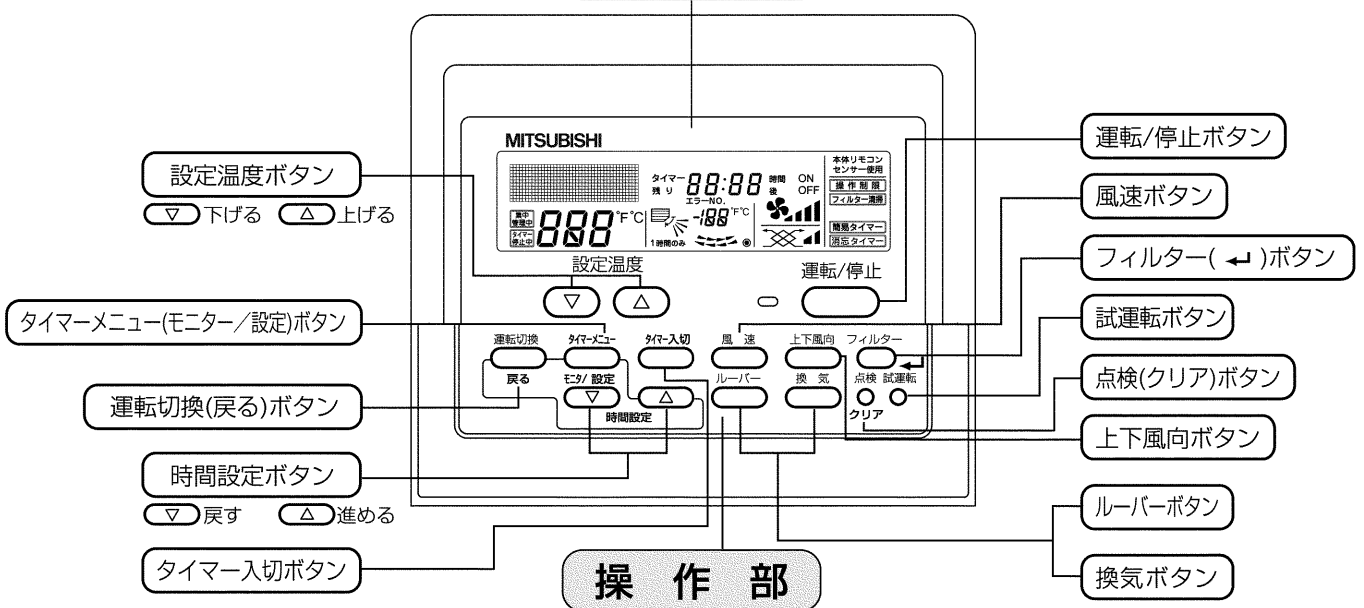
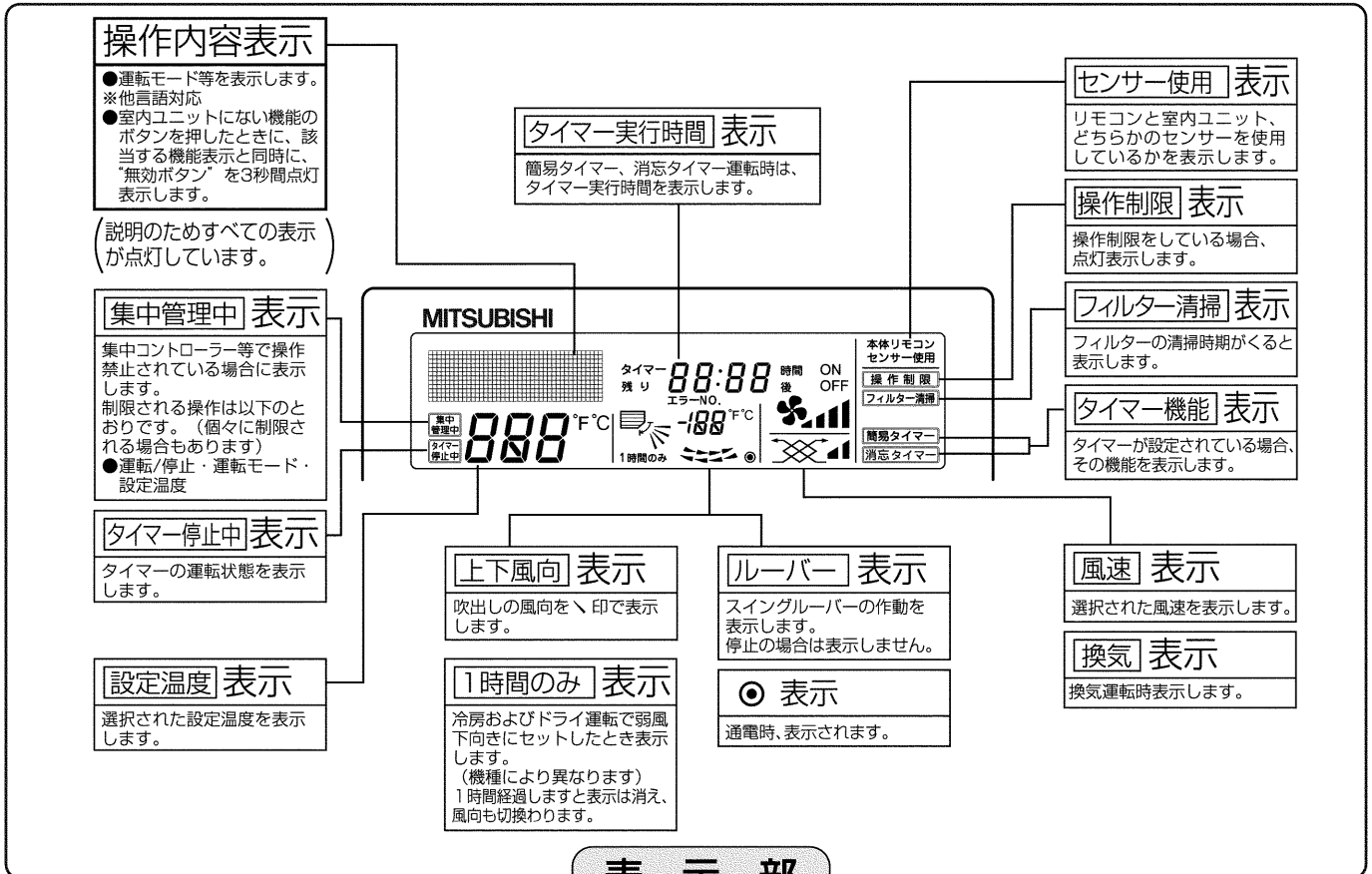
# 2. 各部のなまえ

## 室内ユニット

| | GE-P・M-E2形 |
|---|---|
| 風速 | 1段階 |
| 運転モード | 冷房・送風・暖房 |
| 上下風向調整 | ー |
| 左右風向調整 | ー |
| ロングライフフィルター | 別売 |
| フィルタークリーニングサイン積算時間 | ー |

## 室外ユニット

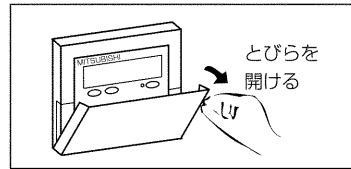
■モデル名,馬力により仕様が異なりますので、詳細は室外機に付属の説明書をご覧ください。

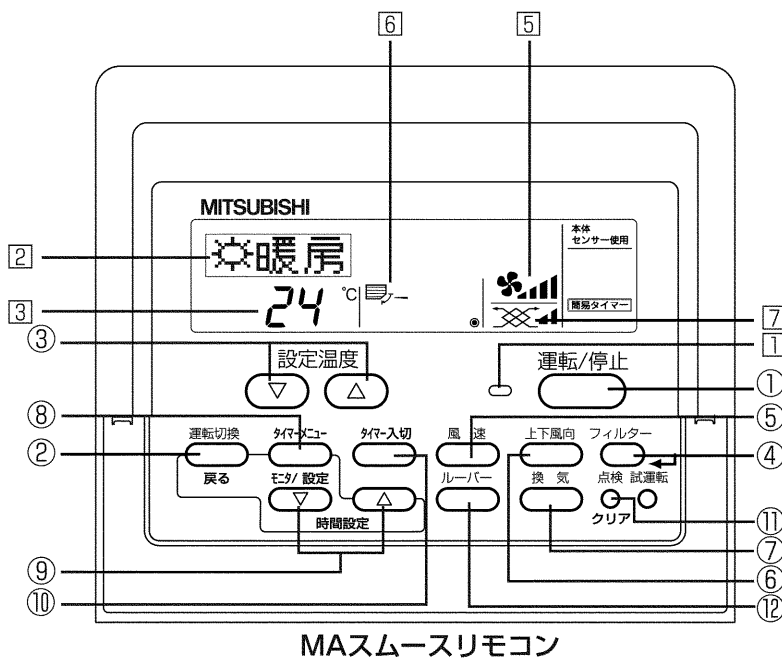
# リモコン（別売部品）

ワイヤレスリモコンをご使用になる場合は、ワイヤレスリモコンに付属されている取扱説明書/据付工事説明書を参照してください。

お知らせ

■"PLEASE WAIT"表示（初期設定中）
電源を入れたときと停電から復帰したとき、約3分間表示します。

■運転モードの点滅表示
同一の室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転をしている場合に表示します。他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。

■"無効ボタン"表示
操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には"無効ボタン"と点灯表示が出ます。
1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、表示されません。

# 3. 運転のしかた

## (1) 運転／停止と運転モード、室温調節のしかた

運転状態表示

暖房準備中

暖房 ←→ 準備中　交互に表示

霜取中

暖房 ←→ 霜取中　交互に表示

### 運転を開始するとき

■ ⬭（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ 1 と表示部が点灯します。

お知らせ ●再運転は、下記運転内容となります。

| | リモコン設定内容 |
|---|---|
| 運転モード | 前回運転モード |
| 温度設定 | 前回設定温度 |
| 風　速 | 強 |

### 運転を停止するとき

■ ⬭（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ 1 と表示部が消えます。

お知らせ ●暖房運転停止後、室内ユニット内の熱を取り去るため、約1分間送風運転します。

**●運転停止後、すぐに電源を切らないでください。ドレン排出装置の残留運転のため、必ず5分以上待ってください。水もれや故障の原因になります。**

### 運転モードを選ぶとき

■運転中に（運転切換）ボタン②を押す。
●1回押すごとに設定が切換わります。
運転モードが 2 に表示されます。

冷房 → 送風 → 暖房 →（冷房へ戻る）

### 設定温度を変えたいとき

■室温を下げたいとき･･･（▽）室温調節ボタン③を押す。
■室温を上げたいとき･･･（△）室温調節ボタン③を押す。
●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
設定温度が 3 に表示されます。
●設定できる指定温度は次のとおりです。

| 冷　房 | 暖房運転 | 送風・換気 |
|---|---|---|
| 14～30℃ | 17～28℃ | 設定できません |

## (2) 風速・風向調節と換気運転のしかた

### 風速を変えたいとき

●この機能はありません。

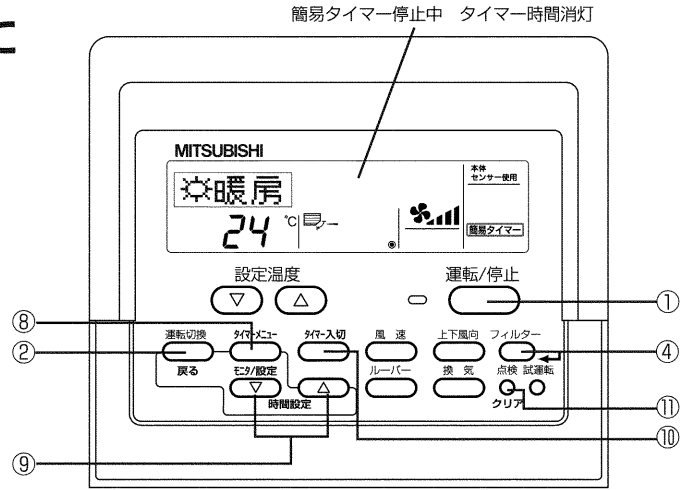
### 上下風向を変えたいとき

●この機能はありません。

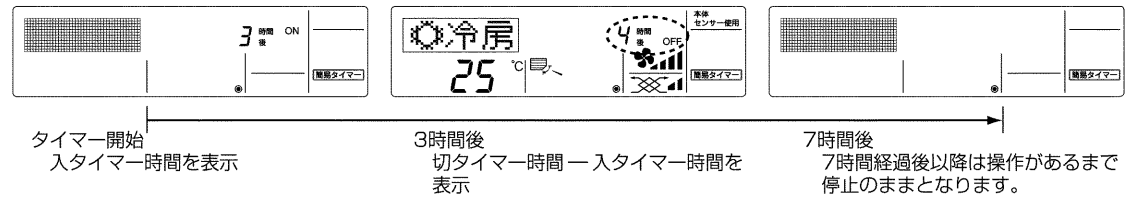
# (3) 簡易タイマー運転のしかた

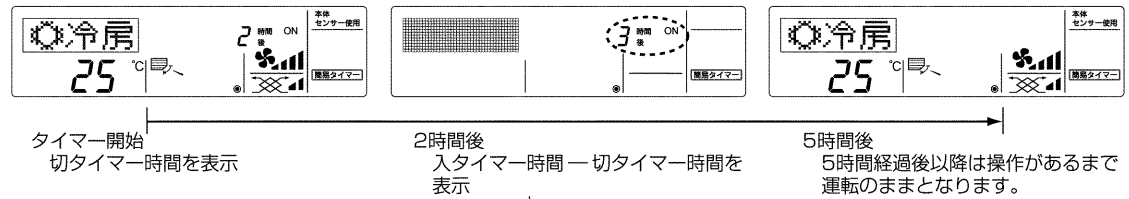
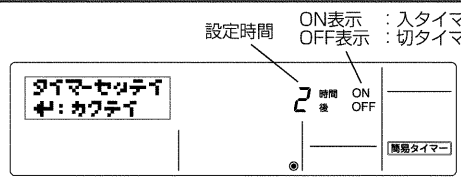
■簡易タイマー運転には次の３つの方法があります。
- ●入タイマー運転　：運転開始時間のみをタイマーで行う。
- ●切タイマー運転　：運転終了時間のみをタイマーで行う。
- ●入切タイマー運転：運転開始／終了時間をタイマーで行う。

■簡易タイマー運転の設定は、72時間以内に入・切各1回以内です。設定時間は、1時間単位です。

■タイマー運転中には、簡易タイマーの他に消忘れ防止タイマーを選択することが可能です。(MAスムースリモコンのとき)
消忘れ防止タイマーの選択／設定方法は、次ページ『(4)消忘れ防止タイマー運転のしかた』、P11,P12の『(7)リモコンの機能選択のしかた』、または、リモコンに付属の据付工事説明書、取扱説明書を参照してください。

(タイマー設定表示例)　※補足　入タイマー、切タイマーの両方が設定されている場合の表示切換について。

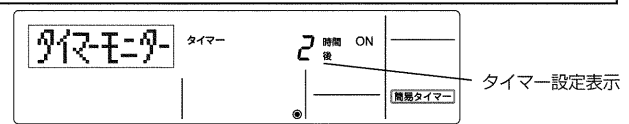
例1）入タイマーから開始する場合　【入タイマー設定時間：3時間後ON　切タイマー設定時間：7時間後OFF　の場合】

- タイマー開始　入タイマー時間を表示
- 3時間後　切タイマー時間ー入タイマー時間を表示
- 7時間後　7時間経過後以降は操作があるまで停止のままとなります。

例2）切タイマーから開始する場合　【入タイマー設定時間：5時間後ON　切タイマー設定時間：2時間後OFF　の場合】

- タイマー開始　切タイマー時間を表示
- 2時間後　入タイマー時間ー切タイマー時間を表示
- 5時間後　5時間経過後以降は操作があるまで運転のままとなります。

## 簡易タイマーの設定のしかた

1. 液晶に簡易タイマーが表示されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を押し、“タイマーセッテイ”表示とします。ボタンを押す毎に、“タイマーモニター”と“タイマーセッテイ”の表示が切換わります。
3. (運転/停止)(ボタン①）を押し、運転開始時間､運転終了時間の設定表示とします。ボタン①を押す毎に、“時間後 ON”と“時間後 OFF”の表示が切換わります。
   - ・入タイマー(運転開始時間の設定表示)：“時間後 ON”
   - ・切タイマー(運転終了時間の設定表示)：“時間後 OFF”
4. (時間設定)(ボタン⑨)を押して、入タイマー(運転開始時間)または切タイマー(運転終了時間)を設定し、(フィルター)(↵ ボタン④)を押して時間を確定させます。
   - ・入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は“－－”表示の状態としてください。
   - ・設定範囲時間：1～72時間
     設定した時間を取消すときは、(点検(クリア))(ボタン⑪)を押し、時間を“－－”表示とさせた後、(フィルター)(↵ ボタン④)を押し確定させてください。

(お知らせ)
●確定せずに(運転切換)(ボタン②)を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。

5. 入切タイマーを両方使用するときは、2.3.で運転開始/運転終了時間の両方の設定を行ってください。
   - ・入切タイマーを同時間に設定することはできません。
     入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみを設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は“－－”表示の状態としてください。
6. (運転切換)(ボタン②)で、タイマー設定が完了します。
7. (タイマー入切)(ボタン⑩)を押すとタイマー運転が開始され、設定された時間が表示されます。

## 簡易タイマー設定を確認するとき

1. 液晶に簡易タイマーが表示されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を押し、“タイマーモニター”表示とします。ボタンを押す毎に、“タイマーモニター”と“タイマーセッテイ”の表示が切換わります。
   - ・設定されている入タイマーまたは切タイマー時間が表示されます。
     入切タイマーを両方設定されているときは、両方の設定を交互に表示されます。
3. (運転切換)(ボタン②）を押すと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。
   - ・ボタンを押さない場合も、約1分で自動的に通常画面に戻ります。

## 簡易タイマー運転を解除(停止)するとき

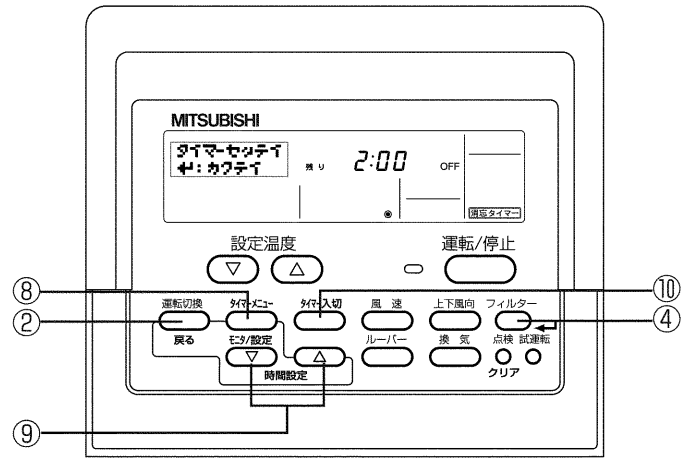
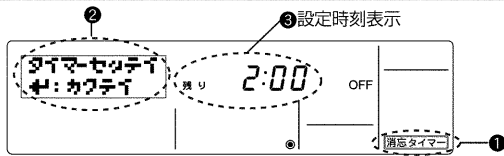
■(タイマー入切)(ボタン⑩）を押し、タイマー設定した時間表示を消した状態とします。

# (4) 消忘れ防止タイマー運転のしかた

■消忘れ防止タイマーは運転開始後、設定された時間が経過したときに自動的に空調機を停止させます。
■消忘れ防止タイマー設定時は、簡易タイマーの設定はできません。
■消忘れ防止タイマー運転の設定範囲は、30分～4時間です。(設定時間は30分単位です。)

MAスムースリモコン

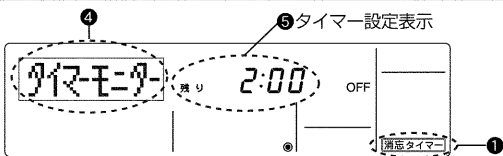
**お知らせ**

●下記の場合、タイマー運転は実行されません。
「タイマー停止中」「異常中」「試運転中」「リモコン診断中」
「機能選択中」「タイマー設定中」「集中管理中(運転/停止操作禁止)」
※簡易タイマー設定中も同様です。

## 消忘れ防止タイマーの設定のしかた

1. 液晶に消忘タイマーが表示 ❶ されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を3秒押し、"設定画面" 表示 ❷ とします。ボタンを押す毎に、"モニター画面" と "設定画面" の表示が切換わります。
3. (時間設定)(ボタン⑨)を押して、切タイマー(運転終了時間) ❸ を設定します。
4. (フィルター)( ↵ ボタン④)を押して時間を確定させます。

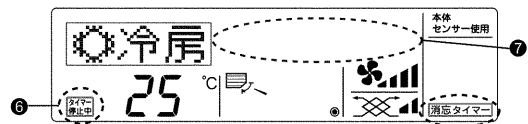
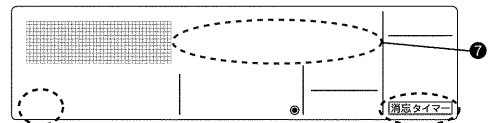
**お知らせ**

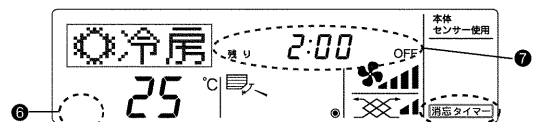
●確定せずに(運転切換)(ボタン②)を押すことにより入力した内容をキャンセルできます。

5. (運転切換)(ボタン②)で通常画面に戻し、タイマー設定が完了します。
6. 空調機が運転状態になると、消忘れ防止タイマー運転開始となり、設定された時間が表示されタイマー運転を開始します。
<u>**必ずご確認ください。**</u>

## 消忘れ防止タイマー設定を確認するとき

1. 液晶に消忘タイマーが表示 ❶ されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(ボタン⑧)を3秒押し、"モニター画面" 表示 ❹ とします。
   ・設定されている切タイマー時間が表示 ❺ されます。
3. (運転切換)(ボタン②) を押すと、タイマーモニター表示が終了し、通常画面に戻ります。

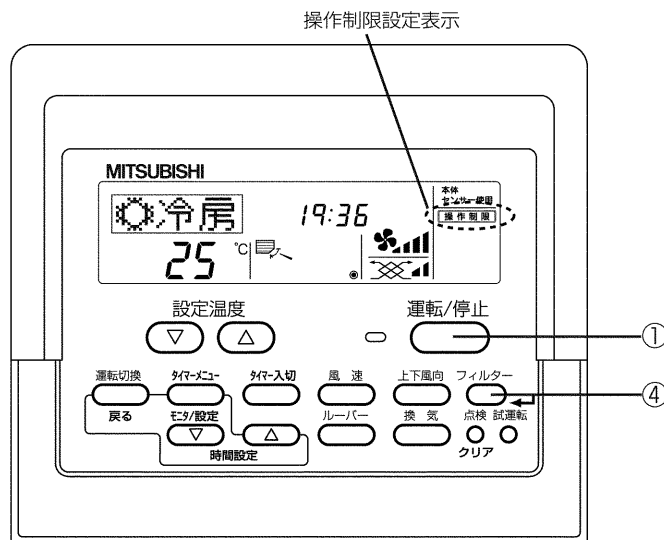
## 消忘れ防止タイマーを解除(停止)するとき

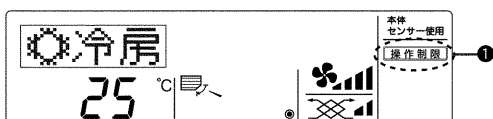
● (タイマー入切)(ボタン⑩)を3秒押し、タイマー停止中 を表示 ❻ タイマー実行時間 表示 ❼ を消灯させます。

● 空調機を停止させ、タイマー実行時間 表示 ❼ を消灯させます。

## 消忘れ防止タイマーを運転するとき

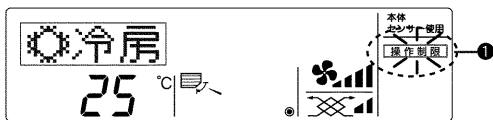
● タイマー停止中に(タイマー入切)(ボタン⑩)を3秒押し、タイマー停止中 を消灯 ❻ 、タイマー実行時間を点灯表示 ❼ させます。
● 空調機を運転させ、タイマー実行時間を点灯させます。

## (5) 操作ロックのしかた

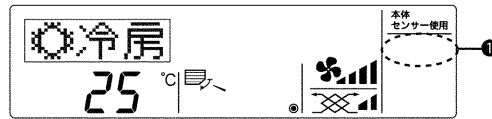
■簡易的にリモコンのボタン操作をロックすることができます。(操作ロックの機能には次の2つがあります。)
リモコン機能選択で設定します。
リモコン機能選択での設定方法については、P11,12の『(7)リモコンの機能選択のしかた』を参照してください。
①全ボタンロック
リモコンの全てのボタン操作をロックします。
②(運転/停止)ボタン以外ロック
(運転/停止)ボタン以外の操作をロックします。

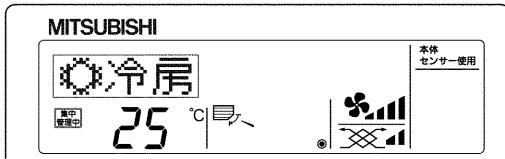
**お知らせ**

●操作ロック設定されている場合は、操作制限が点灯表示します。

### 操作ロック設定のしかた

1. (フィルター)( ↲ ボタン④)を押しながら、(運転/停止)(ボタン①)を2秒押して 操作制限 ❶ を点灯させます。

※リモコン機能選択で、"操作ロック設定なし"が選択されている場合は"無効ボタン"が点灯表示します。

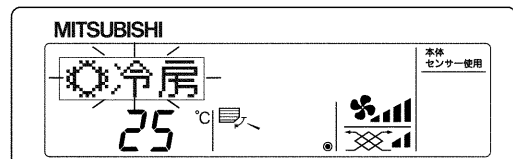
2. 操作ロック中に、ボタン操作をしますと、 操作制限 ❶ が点滅表示します。

### 操作ロック設定解除のしかた

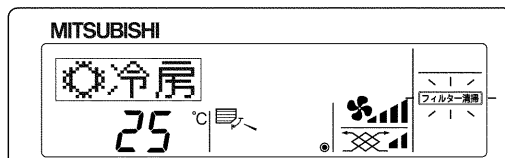
1. (フィルター)( ↲ ボタン④)を押しながら、(運転/停止)(ボタン①)を2秒押して 操作制限 ❶ を消灯させます。

# (6) その他の表示・点滅について

## 集中管理中表示

●集中コントローラー等で、操作を制限しているときに表示します。
制限される操作は以下のとおりです。
・運転／停止
・運転モード
・設定温度

**お知らせ**

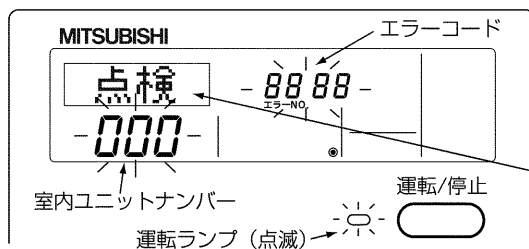
●個々に制限される場合もあります。
●氷蓄熱機種で夜間蓄冷熱運転している場合に表示します。

## 運転モードの点滅

●点滅のままの場合
室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。
他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
●点滅した後モードが切換わる場合
集中コントローラー等で、運転モードの操作をシーズン毎に制限しているときに表示します。
他の運転モードをご使用ください。

## フィルター清掃の点滅

●フィルター清掃時期をお知らせします。
フィルター清掃を実施してください。
● **"フィルター清掃" 表示をリセットする場合**
フィルター清掃後、(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

**お知らせ**

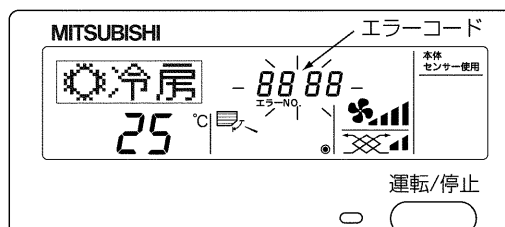
●2台以上の形で異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります。代表機種(親機)の清掃時期が来ると"フィルター清掃"表示されます。また、フィルター表示を消すと、全ての積算時間がリセットされます。
●"フィルター清掃"表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
●フィルター清掃時期の積算時間は、機種により異なります。
●"フィルター清掃"が表示されていない時でも、フィルターを清掃した場合は、フィルターボタンを2度押ししてください。積算時間がリセットされ、その時点から運転時間が積算されます。

## エラーコードの点滅

"異常時の連絡先"が設定されている場合は、異常時に連絡先の電話番号が表示されます。
設定方法については『(7)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。

※点検ボタン押し時の表示

MITSUBISHI
CALL-XXXX
XXX-XXXX
運転/停止

"異常時の連絡先"が設定されている場合は、点検ボタンを1回押すと連絡先の電話番号を表示します。
設定方法については『(7)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。

●「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
ユニットナンバー、エラーコードを確認のうえ、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

●「エラーコード」のみが点滅している場合（運転ランプは点灯したまま）、空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。
エラーコードを確認のうえ、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

# (7) リモコンの機能選択のしかた

リモコン機能選択モードでは下記の機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

| 大項目 | 中項目 | 小項目（設定内容） |
|---|---|---|
| 1．言語切換（CHANGE LANGUAGE） | 表示する言語の設定を行います。 | ・他言語表示ができます。 |
| 2．機能制限 | (1)操作制限機能設定（操作ロック） | ・操作制限（操作ロック）の範囲を設定します。 |
| | (2)自動モード使用設定 | ・運転モードの「自動」使用有無を設定にします。 |
| | (3)温度範囲制限設定 | ・温度調節範囲（上限・下限値）を設定します。 |
| 3．基本機能 | (1)リモコン主/従設定 | ・主リモコン、従リモコンを切換えます。<br>※1グループ2台接続時どちらか一方を『従』設定にします。 |
| | (2)時計使用設定 | ・時計機能の使用有無を設定します。<br>※PAR-22MAでは本設定はできません。 |
| | (3)タイマー機能設定 | ・使用するタイマーの種類を設定します。 |
| | (4)異常時の連絡先設定 | ・異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。<br>・電話番号の設定をします。 |
| 4．表示切換 | (1)温度表示℃/°F設定 | ・表示する温度単位（℃/°F）を設定します。 |
| | (2)吸込温度表示設定 | ・吸込温度表示の有無を設定にします。 |
| | (3)自動冷暖表示設定 | ・自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定します。 |

**【機能選択の流れ】**

[1]空調機を停止状態にして、リモコン機能選択モードに移行する ⇒ [2]大項目を選択する ⇒ [3]中項目を選択する ⇒ [4]小項目（内容を設定する） ⇒ [5]設定完了 ⇒ [6]通常画面に移行する（終了）

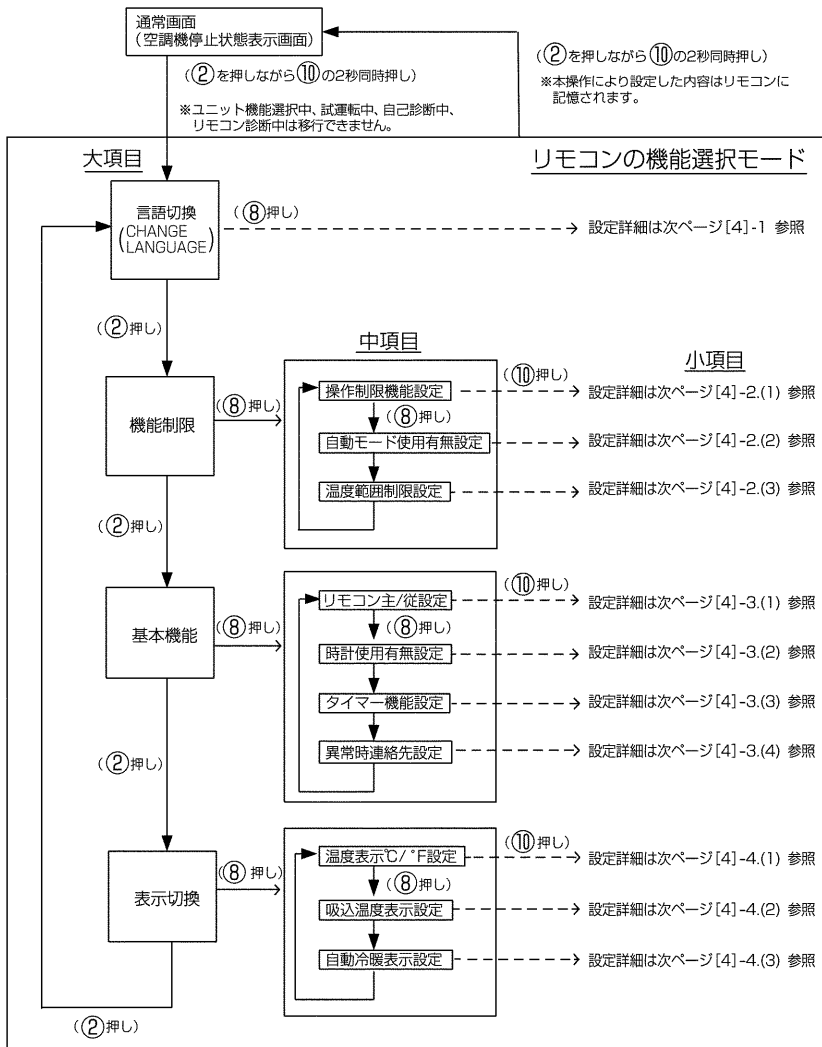
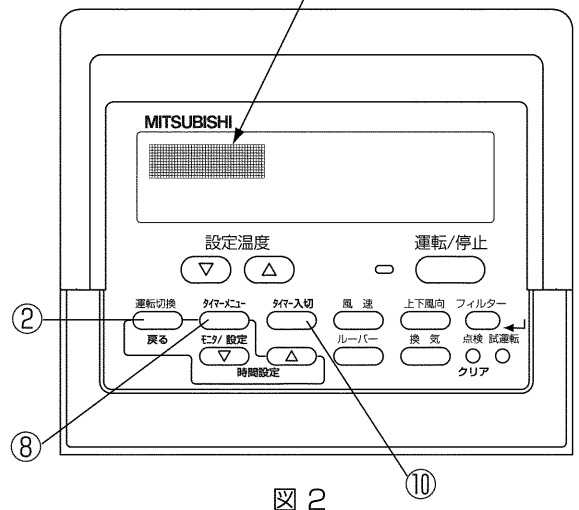



図 1

**お知らせ**

●リモコン機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。

ドット表示部（ドット表示部は言語切換で設定した言語表示となります。本説明書は"日本語"設定の場合です。）

図 2

## 【設定詳細】

### [4]-1.言語切換設定

本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。

・タイマーメニューボタンを押して下記内容を切換えます。

①日本語(JP)、②英語(GB)、③ドイツ語(D)、④スペイン語(E)、⑤ロシア語(RU)、⑥イタリア語(I)、⑦中国語(CH)、⑧フランス語(F)

### [4]-2.機能制限設定

(1)操作制限機能設定(操作ロック)

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①no1 :運転／停止ボタン以外操作ロック設定となります。
②no2 :全ボタン操作ロック設定となります。
③OFF(初期設定値) :操作ロック設定なしとなります。

※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作(フィルターボタンと運転/停止ボタン同時2秒押し)が必要です。

(2)自動モード使用設定(※本機能はありません)

運転モード自動有りユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①ON(初期設定値) :運転モード選択操作時に自動モードを表示します。
②OFF :運転モード選択操作時に自動モードを表示しません。

(3)温度範囲制限設定

設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①冷房モード :冷房･ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
②暖房モード :暖房モードでの設定温度範囲を変更できます。
③自動モード :自動モードでの設定温度範囲を変更できます。
④OFF(初期設定値) :温度範囲制限は実行されません。

※OFF以外が設定された場合、冷房,暖房,自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されていなければ制限は実行されません。

・設定温度▽ボタン、または設定温度△ボタンを押す毎に設定値がアップ,ダウンします。
・風速ボタンを押して上限値設定,下限値設定を選択を切換えます。選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。
・設定範囲

| | | |
|---|---|---|
| 冷房･ドライモード | :下限値:19℃～30℃ | 上限値:30℃～19℃ |
| 暖房モード | :下限値:17℃～28℃ | 上限値:28℃～17℃ |
| 自動モード | :上限値:19℃～28℃ | 下限値:28℃～19℃ |

※設定範囲は接続されるユニット(スリム機種,フリープラン機種,中温機種等)により異なります。

### [4]-3.基本機能設定

(1)リモコン主/従設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①主 :主設定となります。 ②従 :従設定となります。

(2)時計使用設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①ON :時計機能が使用可能となります。 ②OFF:時計機能が使用不可となります。

(3)タイマー機能設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます(いずれか一つを選択)。

①タイマー消忘れ防止 :消忘れタイマー使用可能となります。
②タイマー簡易(初期設定値_MAスムース時) :簡易タイマー使用可能となります。
③タイマー無効 :タイマー未使用設定となります。

(4)異常時連絡先設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

①CALL･OFF :異常中に設定した電話番号は表示されません。
②CALL･0120 *** **** :異常中に設定した電話番号を表示します。
CALL･__ :左記表示時、電話番号を設定します。

・電話番号設定方法

設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。点滅しているカーソル(__)を移動して、数字を設定してします。設定温度△(▽)ボタンを押してカーソルを右(左)に移動させます。時刻設定△ボタンまたは時刻設定▽ボタンを押して、番号を設定します。

### [4]-4.表示切換設定

(1)温度表示℃／°F設定

・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切換えます。

① ℃ :温度表示単位をセ氏表示にします。 ② °F :温度表示単位を華氏表示にします。

(2)吸込温度表示設定(※本機能はありません)

・タイマー入切ボタンを押す毎に下記の順で設定する内容を切換えます。

①ON :吸込温度を表示します。 ②OFF :吸込温度は表示されません。

(3)自動冷暖表示設定

・タイマー入切ボタンを押す毎に下記の順で設定する内容を切換えます。

①ON :自動モード運転時、｢自動冷房｣または｢自動暖房｣表示のどちらかが表示されます。
②OFF :自動モード運転時、｢自動｣のみが表示されます。

# もっと知りたいとき

## 暖房運転について

- リモコンに“霜取中”の表示が出ているときは冷風を出さないよう室内ファンをコントロールします。
- 運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。

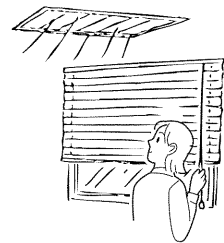
# 上手な使い方

**上手な使い方ー“フリープランシステム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。**

## 室内温度（室温）は最適に

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やし過ぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

## 冷房時は熱の侵入を少なく

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

## 長時間直接お肌に風をあてない

- 長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となります。
- 特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

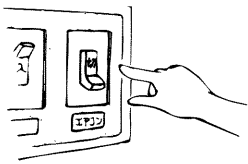
## フィルターの清掃を

- フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また露付・露たれの原因にもなります。
- フィルターは通常の環境では約2500時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。
- ワイヤードリモコンはフィルターサイン付きです。（10ページ参照）

※フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

# 4. お手入れのしかた

## お手入れの前に

■必ず、電源を「切」にしてください。

## 室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。
■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。
故障の原因になります。
■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
また、リモコンケースは取外さないでください。
■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）
を使用し、布等に少量ふくませてから拭取ってください。
■ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性
洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

## フィルターの清掃

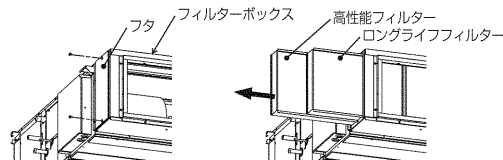
**⚠注意**
必ず電源を切り、運転停止状態で清掃を行ってください。内部のファンが回転したまま作業をするとケガの原因になります。

**⚠注意**
フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

**⚠注意**
フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

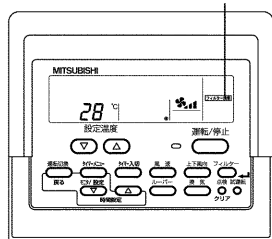
**⚠注意**
フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

**(1)フィルターを取外す。**
弊社別売フィルターをご使用の場合は、別売フィルターの説明書を参照願います。

1.フィルターボックスのフタを閉めているネジ（2本）を外します。
2.フィルターボックス開口部よりフィルターを矢印の方向に引き抜いてください。

**(2)フィルターのホコリを掃除機で吸取ってください。**

**(3)フィルターを元の状態に取付ける。（取外しの逆の手順）**

## フィルター清掃時期

■ワイヤードリモコンの場合は“フィルター清掃”表示を点滅させて清掃時期をお知らせします。

## “フィルター清掃”表示をリセットする

**(1)フィルター清掃後（フィルター）ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。**
■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、フィルターの種類によって、清掃時期が異なります（ロングライフフィルター：約2,500時間、一般フィルター：約100時間）。清掃時期の短い時間により“フィルター清掃”表示されます。また、フィルター表示を消すと全ての積算時間がリセットされます。
■“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。
■“フィルター清掃”が表示されていない時でも、フィルターを清掃した場合は、フィルターボタンを2度押ししてください。積算時間がリセットされ、その時点から運転時間が積算されます。

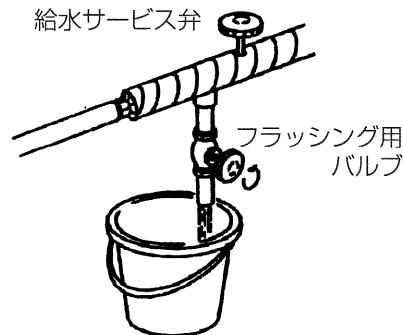
# 加湿器のお手入れ

・本製品は、専門業者の管理のもとにご使用ください。誤ったご使用をされた場合には、水漏れや感電等の事故の原因になります。
・給水管のジョイント部は絶対に取外ししないでください。着脱を繰り返すとジョイント部の変形による水漏れの原因となります。

## 暖房シーズン始め

(1) 給水配管のフラッシングを行ってください（下記参照)。
(2) 給水サービス弁を開けてください。
(3) 湿度調節器のある場合は、希望湿度にセットされていることを確認してください。

**【給水配管のフラッシング要領】**

①給水サービス弁を開けてください
②フラッシング用バルブを開け、給水がきれいになるまで十分に放水してください。
■給水圧力が高い場合や、エアが入っている場合は、水が勢いよく噴出することがあるのでご注意ください。
■水がこぼれた場合に備え、下部の品物はできる限り移動させ、必要に応じてビニールシートを敷くなどして、養生してください。
■フラッシング用バルブを閉めたあとも、内部の残水が出ることがありますのでご注意ください。
③作業終了後は、フラッシング用バルブを閉め、水漏れがないことを確認してください。

上図は実施例です。給水がきれいになるまで十分に放水してください。

## 暖房シーズン終わり

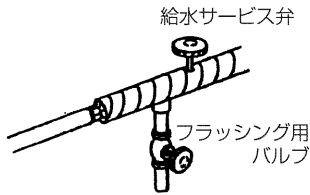
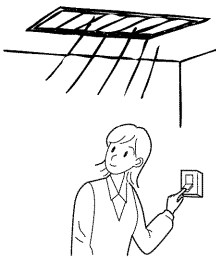
(1) 給水サービス弁を閉じてください。
(2) 暖房試運転を実施し、加湿器をよく乾燥させてください。
■リモコンの(試運転)ボタンを2度押しすることで試運転モードに入ります。(運転モードは“暖房”にしてください)
※試運転方法はリモコンにより多少異なりますので詳しくはリモコンに付属されている説明書をご覧ください。
※試運転モードは切タイマーにより、2時間後に自動で停止します。

## 日常の運転管理

・衛生的な空調を行うために、運転停止時に加湿器が湿った状態で長時間放置されることは望ましくありません。
室内ユニットの運転を一昼夜以上にわたって停止する場合には、上記の暖房試運転を1時間程度実施し、加湿器を十分に乾燥させてください。また一昼夜以上にわたって停止しない場合も、1週間に1度程度加湿器を十分に乾燥させてください。
・電気点検等による停電で運転が停止する際は、必ず事前に加湿器の給水サービス弁を閉めてください。
給水用電磁弁にリーク等の故障が生じた場合、漏水の原因となります。
・暖房シーズン中は定期的に巡回点検を行い、配管各部からの水漏れおよび異常がないことを確認してください。
・加湿エレメントの交換周期は3年です。ただし、使い方によっては寿命が短くなる場合があります。
加湿エレメントの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 5. 長期間ご使用にならないとき

## 長期間ご使用にならないとき

**(1)給水サービス弁を閉じてください。**

**(2)4～5時間、送風運転して室内ユニット内部および加湿器を乾燥させる。**

**(3)<ワイヤレスリモコンの場合>リモコンから乾電池を取出す。**

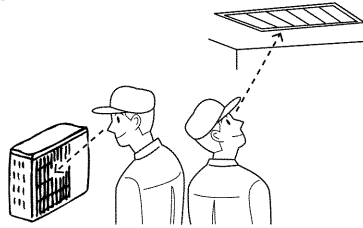
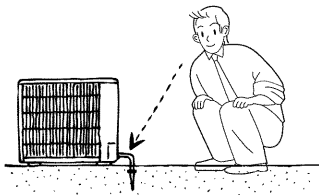
※漏水保護機能が働かなくなるため、室内ユニットの電源は切らないでください。

## 再度使い始めるとき

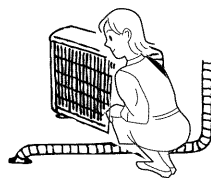
■下記作業(1)～(5)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

**(1)フィルターを清掃して、取付ける。**

※フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

**(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。**

**(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。**

**⚠注意**

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

**(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。**

**(5)暖房シーズンの場合は、「4.お手入れのしかた」の 加湿器のお手入れ を参照し、給水管のフラッシング等を行ってください。**

**(6)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。**

# 6. 別売部品について

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応していただけるように、専用の別売部品を用意しています。

## 室内ユニット用別売部品

**■高性能フィルター（比色法　65%,90%）**

例えば、学校・学習塾等、チョークの粉などが多い環境でお使いください。

**■ロングライフフィルター**

**■フィルターボックス**

弊社別売高性能フィルター,ロングライフフィルターを採用される場合は、別売フィルターボックスが必要です。

# 7. こんなときには･･･ Q&A

## ●動かない！

**リモコンの運転表示が点灯しない。**

■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。
ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（◉）が点灯しません。

**リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。**

■集中コントローラー等で、操作を制限されている場合に表示します。
■氷蓄熱機種で夜間蓄冷熱運転している場合に表示します。

## ●勝手に動き出した！

**運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。**

■リモコンで入タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を開始します。
■集中コントローラー等で、操作した場合に運転を開始しします。
■電源発停機能に設定している場合、室内ユニットの電源を入れると自動的に運転を開始します。
■停電自動復帰機能に設定している場合は、運転中に停電または電源を切ったとき電源を入れると、自動的に運転を開始します。
※電源発停機能および停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

**暖房運転時、停止ボタンを押した数秒後に再び動き出した。**

■加湿器の自動乾燥運転中です。（乾燥運転中は、リモコンに“暖房”が点滅表示されます。）乾燥運転終了後自動的に停止となりますので、停止操作やモード切り替え等を行わないでください。（乾燥運転が解除されます。）

## ●勝手に停止した！

**運転・停止ボタンを押さないのに停止した。**

■リモコンで切タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。
■集中コントローラー等で、操作した場合に運転を停止します。

## ●よく冷えない、暖まらない！

**よく冷えない。よく暖まらない。**

■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。
■室内ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。

**再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ冷房（暖房）運転しない。**

■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。
再運転をした場合は、冷房（暖房）運転するまで約3分間お待ちください。

## ●音がする！

**水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。**

■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。
※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

**“ピシッ、ピシッ”という音がする。**

■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
異常ではありません。
※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

**排水音やモーターの回転音がする。**

■冷房運転停止後約3分間、ドレンアップメカを運転してから停止するためです。
■運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転をしている場合、ドレン水が発生します。ドレン水が溜まるとドレンアップメカを運転し、排水を行うためです。
※1時間に2～3回以上の場合、サービスをお申しつけください。

**騒音が仕様値よりも高い。**

■室内の運動音は反響などにより、無響音室で測定した仕様値よりも、一般的につぎに示します値程度高くなります。

| | 吸音効果の高い部屋 | 普通の部屋 | 吸音効果の低い部屋 |
|---|---|---|---|
| 一　般　例 | 放送スタジオ、音楽室等 | 応接室、ホテルロビー等 | オフィス、ビジネスホテル等 |
| 騒音アップ値 | 3～7dB | 6～10dB | 9～13dB |

## ●水蒸気・水（室内ユニット）が出る！

| 症状 | 説明 |
| --- | --- |
| 室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。 | ■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。<br>■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。 |
| 室外ユニットより水・水蒸気がでる。 | ■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。<br>■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。<br>■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。 |

## ●すぐに風が出てこない！

| 症状 | 説明 |
| --- | --- |
| 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。 | ■十分に暖かな風をおとどけするための準備中です。<br>リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのままお待ちください。 |

## ●暖房中運転、運転が止まる！

| 症状 | 説明 |
| --- | --- |
| 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。 | ■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。<br>この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。 |

## ●リモコン設定および表示について

| 症状 | 説明 |
| --- | --- |
| リモコンのタイマー運転がセットできない。 | ■タイマー設定が無効となっていませんか？タイマー設定が可能なときは、(簡易タイマー)、(消忘タイマー) のいずれかが表示されています。 |
| リモコンに“PLEASE WAIT”の表示がでる。 | ■初期設定（約3分）を行っているためです。そのままお待ちください。<br>停電からの復帰時や室外ユニットまたは室外ユニットの電源を入切した場合など表示します。 |
| リモコンにエラーコードが表示される。 | ■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。<br>※自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。 |
| 設定温度に対して吹出温度が高すぎる(低すぎる) | ■加湿エレメント交換初期、または外気温度によっては、吹出温度が設定温度で安定しないことがあります。<br>■中間期にサーモon/offを繰り返す際は、間欠的に吹出温度が設定温度に対して高く（低く）なります。 |

## ●温風が出る！

| 症状 | 説明 |
| --- | --- |
| 暖房サーモOFF時および送風運転時に断続的に温風が出る。 | ■他の室内ユニットが暖房運転している場合、システムの安定性を保つために、制御弁を時々開閉するためです。<br>しばらくすると止まります。<br>※小部屋等で室温が上昇して困る場合は、運転を停止してください。 |

## ●その他

| 症状 | 説明 |
| --- | --- |
| 部屋がにおう。 | ■エアコンが壁やじゅうたん、家具、衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹き出すためです。 |
| 冬期、異常に部屋が乾燥する | ■加湿器用ストレーナーが目詰まりしている場合がありますので、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。 |
| 白い粉のようなものが吹き出る | ■シリカ成分を多く含んでいる水を加湿器の給水に用いると、白い粉が吹き出ることがあります。このような場合はお買い上げ販売店または工事店にご相談ください。 |

# 8. 保証とアフターサービス

■保証書は室外ユニットに添付しております。
セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。

■エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が完全に行われたことをサービスマンに確認してください。

■この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問合わせください。

■機器予防保全の目安 [保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

下記は、以下のご使用条件の場合です。

①頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
②製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。（氷蓄熱等夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。）

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

| 主要部品名 | 点検周期 | 保全周期[交換または修理] | 主要部品名 | 点検周期 | 保全周期[交換または修理] |
|---|---|---|---|---|---|
| 圧縮機 | 1年 | 20,000時間 | 膨張弁 | 1年 | 20,000時間 |
| モーター（ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など） | | 20,000時間 | バルブ（電磁弁、四方弁など） | | 20,000時間 |
| ベアリング | | 15,000時間 | センサー（サーミスター、圧力センサーなど） | | 5年 |
| 電子基板類 | | 25,000時間 | ドレンパン | | 8年 |
| 熱交換器 | | 5年 | | | |

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
●電気部品に絶対に水（洗浄水等）をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。
●補修用部品の保有期間について
このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は経済産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安 [交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表-2. 「交換周期」の一覧

| 主要部品名 | 点検周期 | 交換周期 | 主要部品名 | 点検周期 | 交換周期 |
|---|---|---|---|---|---|
| ロングライフフィルター | 1年 | 5年 | ヒューズ | 1年 | 10年 |
| 高性能フィルター | | 1年 | 加湿エレメント | | 3年 |
| 平滑コンデンサー | | 10年 | クランクケースヒーター | | 8年 |

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。
注3. 経年劣化により定期的にメンテナンスを行った場合でも加湿性能は徐々に低下していきます。
また、水質などの使用環境によっては、交換周期がこれより早くなる場合があります。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

## ■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

●室外ユニットに保証書を添付しております。セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。

●保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。**[保証期間経過後の修理は有償になります。]**
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。

●良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

## ■移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

●エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので､お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

# 9．移設・工事・点検について

## ■移設について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

**この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。**

③フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

④この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

1）この製品は、地球温暖化防止のために、適正にフロン類を回収する必要があります。

2）本機には二酸化炭素15.6ton～240.6tonに相当するフロン類が使用されています。

3）上記2）の数値は、本機が接続されている室外機や接続室内機台数、配管長等により異なります。
システム全体での数値は、室外機に表示されています。

この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。エアコンの取外し時は、フロン類の回収が必要です。
表示されている数値は、システム全体の最大冷媒量（システムの容量により変化）を能力当りに換算した冷媒量を元に算出しています。

## ■設置場所について

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

②次の場所への据付けは避けてください。

- ・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ・炎の近くや溶接時のスパッターなど、火の粉が飛び散るところ
- ・酢（酢酸）を多量に使用するところ
- ・海浜地区等塩分の多いところ
- ・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
- ・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
- ・粉や蒸気が多量に発生するところ
- ・油煙のたちこめるところ
- ・湿気の多い場所
- ・高周波を発生する機械のあるところ
- ・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。

④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

## ■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

## ■電気工事について

①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。

②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。

④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

## ■騒音にもご配慮を

①据え付けにあたっては、エアコンの質量に十分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。

②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。

④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 10. 仕　　様

●GE-P・M-E2形

| 項目＼形名 | | 1080形 | 1680形 | 2100形 |
|---|---|---|---|---|
| 電　源 | | 50/60Hz | | |
| 冷媒能力　(kW) | | 14.0 | 22.4 | 28.0 |
| 暖房顕熱能力　(kW)※ | | 8.0 | 12.4 | 15.5 |
| 加湿能力　(ℓ/h) | | 8.3 | 13.0 | 16.2 |
| 外形寸法 | 高　さ　(mm) | 470 | 470 | 470 |
| | 幅　(mm) | 850 | 1250 | 1250 |
| | 奥　行　(mm) | 1400 | 1400 | 1400 |
| 風量　($m^3$/min) | | 18 | 28 | 35 |
| 騒音値　(dB)※ | | 41/43 | 43/44 | 44/45 |
| 製品質量　(kg) | | 97 | 114 | 121 |

※冷房・暖房能力は、冷房：33℃（乾球温度）、28℃（湿球温度）、相対湿度68%
暖房（無着霜時）：0℃（乾球温度）、－2.9℃（湿球温度）、相対湿度50%
の条件で吹出温度設定（冷房：18℃、暖房22℃）、配管長7.5m、高低差0m時の能力を示します。
（　）内の値は暖房顕熱能力を示します。
※騒音値は反響の少ない無響音室などの部屋での値（A特性値）を示します。

## 【使用範囲】

各機種シリーズの室内外ユニットの使用温度範囲は、以下記載のとおりです。
ご使用になっている製品をお確かめのうえ、使用範囲をご確認ください。

**⚠注意**

使用温湿度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。

| | | 外気温度 |
|---|---|---|
| 冷房 | 乾球温度 | 43℃以下 |
| | 湿球温度 | 15℃～35℃ |
| 暖房 | 乾球温度 | －10℃～15℃ |
| | 湿球温度 | － |
| 注）室内外共使用可能な湿度目安としては、相対湿度30～80%の範囲内でご使用ください。 | | |

※外気温度5℃（乾球温度）以下の場合には、加湿器凍結防止のため、強制的に暖房運転をすることがあります。
※室内ユニットの周囲温度は、露点温度26℃以下でご使用ください。

愛情点検

**●長年ご使用のエアコンの点検を！**

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

| ご使用の際、このようなことはありませんか？ | ●運転音が異常に大きくなる。<br>●室内ユニットから水が漏れる。<br>●電源が頻繁に落ちる。<br>●その他の異常や故障がある。 | ご使用中止 | 故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。 |
|---|---|---|---|

| 後日のために記入しておくと便利です。 | | | |
|---|---|---|---|
| お買い上げ店名 | | 電話 | |
| お買い上げ(据付)日 | 年 | 月 | 日 |


三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）

〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111



WT05970X01